

社会貢献の推進

http://www.nichirei.co.jp/corpo/env/env2012/society/society_01.html

ホーム > CSRレポート2012 > 社会のために

Web

ホームページでは、さらに下記の情報を掲載しております

- ▶ 2011年度の活動と今後の取り組み ▶ 超高齢社会に向けた食育の試み ▶ アウトオブキッザニア漁業体験 ▶ 大学への寄付講座 ▶ 植林活動への取り組み
- ▶ 地域清掃活動 ▶ フードバンクへの寄付 ▶ TABLE FOR TWOへの参加 ▶ 義援金の拠出 ▶ 物資の支援 ▶ 使用済み切手の収集 ▶ エコキャップ
- ▶ 炊き出し用原料の協力 ▶ 難病患者への支援 ▶ ミャンマーの病院などへ検査薬の提供 ▶ 京論壇への支援(東京大学と北京大学の国際討論) ▶ スポーツ支援
- ▶ インターンシップ ▶ 職場体験学習の受け入れ

社会貢献基本方針

わたしたちニチレイグループは、企業市民として広く社会から信頼される企業でありたいと考えます。

わたしたちは、素材を見きわめ、おいしさと健康を創り出し、安全で効率的な物流を通じて社会に貢献します。さらに、事業活動以外の分野

においても自らの誠意と共感と使命感に基づき、社会貢献活動を行います。

わたしたちは、この考え方にに基づき、食や物流に関する教育、地域貢献、環境保護、災害支援、スポーツ支援を中心に、積極的な社会貢献活動に取り組めます。

食育活動

ニチレイフーズ食育プロジェクト

ふっくら、シャキシャキ、ジューシー、こんがり……。こんなことばをニチレイフーズの商品のパッケージで見つけたことはありませんか。ニチレイフーズの食育プロジェクトではこれら「食経験を通じて表現されるさまざまなことば」を「おいしさことば」と名づけ、「おいしさことば」の発信と「おいしさことば」を使った豊かなコミュニケーションの醸成を食育活動の中心にしています。このことが、食の品質を見極める力や食を選ぶ力につながると考えています。

ニチレイフーズはオリジナルの「“おいしさことば”体験ブック」を使い、大人はもちろん、子供たちも「おいしさことば」に触れ、体験しコミュニケーションを楽しむワークショップを各地で開催しています。その他、食育コミュニケーションキャラクター「ことはちゃん」を通じて、商品パッケージやインターネットで「おいしさことば」を発信しています。

今後は全国の工場や支社と共同し、より多くの場面で「おいしさことば」に触れていただき、食卓での会話やコミュニケーションがより豊かになり「笑顔の食卓」が広がる活動をしていきます。



「おいしさことば」体験ブック

岩手県軽米町の小学校で「純和鶏」の食育授業を実施

震災の記憶も冷めやらぬ6月28日、軽米町の小学校にて「純和鶏」を題材にした食育授業を行いました。

(株)ニチレイフレッシュファームでは生産する有機質肥料を飼料米生産に利用した循環型の生産体制を同町と推進しており、飼料米の生産は2012年度で4年目となります。

授業には生徒の皆さん・担任の先生のほか、校長先生と軽米町の山本町長もご参加いただきました。食育授業では「純和鶏」のおいしさのヒミツや、循環型の生産サイクルの説明を行うと、生徒の皆さんも興味を持って聞いていただけました。

冒頭に校長先生から「『純和鶏』は、軽米町の多くの農家さんが丹精こめて育てた“飼料米”を食べて育てています」というお話があったこともあり、生徒の皆さんには地域の食材と地域の基幹産業である農畜産業に対する理解が深まったことと思います。

ニチレイフレッシュグループとしても、今後もこのような地域の方とのふれあいを大切にしながら、魅力ある事業展開を進めて参りたいと思います。



授業の様子



「純和鶏」のタンダーチキン

物流に関する教育

小中学生 社会科見学の受け入れ

ニチレイロジグループでは、周辺地域の小中学生を中心とした校外学習を継続的に受け入れています。

(株)ニチレイ・ロジスティクス東海では、2012年1月に名古屋市立南陽中学校から4名の生徒を受け入れました。総合学習の一貫として、『環境問題に積極的に取り組んでいる企業』へということで、当社へ依頼がありました。見学のなかでは、事業紹介、CSRレポートを使用して環境に対する活動の紹介、生徒さんからの質問への回答を行いました。また隣接の白鳥物流センター構内の見学を行い、生徒さんたちは冷蔵庫



見学の様子

の大きさや庫内の温度を体感し驚いていました。当社の環境への取り組みや事業について知ってもらう良い機会でした。また、ニチレイフーズより冷凍食品の試食やお土産を提供し、ニチレイグループのアピールもできました。

VOICE

株式会社ニチレイ・ロジスティクス東海
企画管理部 勅使 り子



社会貢献として地元学校の校外学習の受け入れをしております。また当社事業や社会活動をより知っていただく良い機会と捉えております。今回初めて担当させていただき、どのように対応したらわかり易くお伝えできるか苦慮しましたが、学習を終えて生徒さんから環境問題を身近に考え取り組むきっかけとなったとお礼のお手紙をいただくことができました。次年度も依頼がありましたら継続する予定です。

東日本大震災 被災地での支援活動事例

石巻・北上中学校での料理講習会

ニチレイフーズは2012年2月、宮城県石巻市の北上中学校で開催された料理講習会に参加しました。このイベントは東日本大震災により仮設住宅での生活を余儀なくされている方々が、自発的に参加でき、懇親を深めることで住民間の自立的活動のきっかけづくりとなることをテーマに、北上仮設住宅自治体と北上中学校の主催で開催されました。

石巻北上地区はNPO法人セカンドハーベストジャパン(以下2HJ)が震災当時からサポートを続けている地域であり、フードバンク活動を通じ2HJと交流のあるニチレイフーズにお声掛けいただいたことから、食育プロジェクトメンバーを中心に参加しました。

当日はニチレイフーズの冷凍食品に、野菜・フルーツなど各種栄養を補う素材を使用してひと手間加えたアレンジメニューを紹介。参加者の方々と一緒に調理しました。「家でもまた作って家族で食べたい」という嬉しい感想も多数いただ

くことができ、盛況のうちに終了しました。生活の基盤としての“食料供給”を経て、人と人をつなぐ“食卓”の提供のお手伝いをすることは、食品企業として求められる社会貢献の1つではないかと考えます。今後は、社内での支援協力の輪を広げ、継続した活動にしていきたいと考えています。



講習会の様子